

科目名	保健統計学			ナンバリング	BSS633	授業形態	講義
対象学年	2年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	後藤恭一	担当教員					

授業の概要	我が国の衛生関係統計資料の概要および地域理解に用いられる主要な健康指標、これらに関する国際的尺度や基本的統計を理解し、地域および国際的健康課題の把握に役立つ基礎的知識や方法論を学修する。人口構造、人口動態統計、傷病の分類、疾病構造、健康状態と受療状況、保健医療福祉に関する基本的統計の知識と基本的な疫学の知識を連携して理解するよう実例を用いて学修する。また、新聞など報道においても用いられる保健統計の特殊な指標(合計特殊出生率や標準化死亡率)について、基本と応用を理解する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 保健統計と疫学、公衆衛生学との関係を理解する 健康や疾病に関する統計を取る意味を理解する 保健統計調査および代表的保健指標について、その内容について説明できる 統計資料の一般的な集め方や集計方法について理解できる データの統計的分析方法についてその基礎知識を説明できる 以上を系統的に学習することにより2年次に学習する公衆衛生学、3年次に学習する疫学の理解を深いものとする。
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	統計学は、集団の特徴を数値で把握し活用するための学問で、健康に関連するものを保健統計学という。出生率、平均寿命、平均余命などの用語は日頃から報道などで耳にする。そこで、日頃から健康に関する報道について興味をもって欲しい。
ディプロマポリシーとの関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】
	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。
	2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。
	○ 3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。
	○ 4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。
	○ 5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<ul style="list-style-type: none"> 定期試験並びに小テストにおける得点が60点以上 統計的・科学的思考を理解することが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験並びに小テストにおける得点が80点以上 単なる知識の積み重ねではなく、統計的・科学的思考を行なうことができる。

成績評価観点	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					60%
小テスト・授業内レポート	○	○					30%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○	○		10%

課題、評価のフィードバック	
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	保健統計と疫学、公衆衛生の関係 保健統計概論	保健統計学の目的について解説をするとともに、本授業の概要について触れる。	
	第2回	保健統計 各種厚生統計	現在行われている様々な保健調査について概説し、国民の疾病予防や健康増進を図るための統計的分析の重要性について解説する。	
	第3回	保健統計 人口静態統計	総務省が行っている人口静態調査(国勢調査)を概説し、人口ピラミッド、年齢3区分と健康指標等について説明する。	
	第4回	保健統計 人口動態統計-1	厚生労働省が行っている人口動態統計を概説し、出生、死亡、死産、婚姻、離婚、再生産率について説明する。	
	第5回	保健統計 人口動態統計-2	厚生労働省が行っている人口動態統計を概説し、生命表、平均余命、平均寿命、健康寿命について説明する。	
	第6回	保健統計 人口動態統計-3	生命表、平均余命、平均寿命、健康寿命、国民生活基礎調査、患者調査について説明する。	
	第7回	統計学 EBN(Evidence Base Nursing)と科学的思考 プロセス	EBN(Evidence Base Nursing)とは何か、その歴史的背景と方法を理解する。科学的思考プロセスを理解する。	
	第8回	統計学 疫学との関わり リスクの指標など	保健統計と疫学について、疾病頻度の計測の観点からその重要性を説明する。	
	第9回	統計学 調査手法	調査の実施方法について概説し、調査計画と実施、実例として調査票の作成や回答の型式、面接法、郵送法について説明する。	
	第10回	統計学 基本的統計-1	悉皆(しっかい)調査と標本調査の違いを説明する。推定統計学を概説する。	
	第11回	統計学 基本的統計-2	各種保健統計で用いられている、平均、中央値、標準偏差等の記述統計を概説する。	
	第12回	統計学 基本的統計-3	各種調査研究で用いられている、関連性の指標を概説し、クロス集計、相関係数、回帰分析について説明する。	
	第13回	統計学 治療の効果	エビデンスの実例として治療の有効性や効果を確認するための手法を概説し、統計学仮説検定、t検定、カイ二乗検定を説明する	
	第14回	統計学 ヘルスリテラン	代表的な研究方法とエビデンスレベルを説明する。また、エビデンスを歪める「バイアス」と「交絡」を説明する。	
	第15回	総括	・世界や日本の健康状態を概説 ・統計的・科学的思考の総括	
		試験	試験	
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。確認小テストを実施する		
授業外学習の指示		講義で使用するスライド資料は、manab@IMUからPDFファイルとしてダウンロードできる。予習(資料の閲覧)と復習(知識の再確認)を必ず行うこと。予 (授業外学習時間: 毎週 60 分)		

教科書	やさしい保健統計学 南江堂 ISBN978-4-524-26821-4
参考書	
参考URLなど	総務省 統計局 なるほど統計学園 http://www.stat.go.jp/naruhodo/index.htm 厚生労働省 各種統計調査 http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
その他	